

令和4年度 第2回 大阪府立守口東高等学校 学校運営協議会 議事録

日時:令和5年1月27日(金)14:30~16:00

場所:本校 校長室

【出席者】

<委員>長谷川 陽一(桃山学院教育大学 教授)【副会長】/栗本 太郎(白鳩チルドレンセンター八雲中園長)  
/小倉 庸敬(株式会社 淀川製作所 代表取締役)/竹下 友梨(株式会社 ベネッセコーポレーション)

<校長> 吉武 進

<事務局> 辻 真人(教頭)/吉澤 美香(事務長)/笹山 秋生(首席)/福山 昌美(首席)

<アドバイザー> 林 星香(本校 SC)

1. 開会の挨拶(校長より)

2. スクールカウンセラーについて

・本校での SC 活用について

業務内容・・・生徒保護者、教職員からの相談およびそれに対する助言/教員向け研修 等  
本日までの相談件数はのべ45件

うち、生徒または保護者の相談が31件/14件は教員向けコンサルテーション

・SCの先生より

その生徒の背景にある心の状態について、相談をききながら組み立てたり、  
家庭の状況によっては学校の先生方やSSWとの橋渡しを行っています。

3. スクールミッションについて(校長より説明)

「教育方針」→「教育目標」に変更、「国家社会」→「地域社会」に変更。「衣を正し、時を守り、場を清める、そして自分を磨く」という言葉を追記し、府教委に提出しました。

4. 令和4年度学校経営計画および学校評価について(校長より)

【結果報告】

・進路指導の項目

3年生対象「自分の希望した進路に満足している」70%少し超えを目指していたが、結果、96%であった。これについて、本校では「1人1人の生徒が希望する進路、その実現」を大切にしており、生徒たちもそれを評価してくれたという点でよかった。

・求める授業について

生徒が求めているのは①基礎学力 ②生徒に合わせた調整が行われる授業内容 ③進路実現であったのに対して、保護者の①は進路実現であった。生徒や先生が必要と感じている基礎学力について、保護者はそうは考えていないことが読み取れた。

・検定の受検者数が昨年度と比べると72%増、要するに101.72倍になった。

## 5. 令和4年度体育祭・文化祭について(報告)

体育祭は東和薬品ラクトブドームにて無事開催できた(写真の紹介)。今年度は、応援団も3団編成で行うことができ、コロナ前の態勢に少しだけ戻すことができた。

文化祭は1・2年生による展示部門と3年生によるステージ部門、全クラスが宣伝広報のための「パネル」制作にも取り組んだ。

## 6. 守口東高等学校周年事業について(校長より)

40周年の記念誌は作成したものの、こぢんまりとした会となった。50周年は盛大に行いたいと考えている。

## 7. 協議

①現時点での志願率が昨年度に比べ上がっている。何が効果的であったのか。

→校長ブログのこまめな更新により、学校の様子が伝わりやすくなったのではないかな。

→1年生による母校(中学校)訪問を行った。

②地域の中での文化活動を活発にすることで、地域との絆が強まり、さらによい学校になれると感じた。

③守口門真の商工会議所の会員企業が3000社ぐらいあり、それらの企業が地元の学校への就労支援を行える体制を整えばよいのだが(地産地消)。

④地域を大切に生きてくれる生徒を育てたい。学校説明会ですごい卒業生を紹介して「こんなふうになれるかもしれない」と思わせて希望生徒を増やすのは本意ではない。特別な子が来て特別な人に育つのではなく、誰が来てもしっかり育つようにするのが公立高校の使命であると思う。

## 8. 事務連絡

①次回の日程調整

②その他